

編集後記

創刊号からかなりの時間が経過してしまつた。その間に世界的な変容が確実に進行し、同時代的な共感、或いは反撥のなかで私達が知の枠組みをどうとらえ換えていくかという問題が急速に浮上してきたように感じる。学会誌という小さな場から発する声を如何に社会が吸収していくのか、その行末を息詰まる思いで見守っていききたい。

第二号発刊遅延の責は今回の編集担当者にある。早くから原稿を戴いていた先生方、また刊行を待たれていた会員の皆様に深くお詫びする。今後、スムーズに発刊される予定なので、大方のご寛恕を賜りたい。

本学会も短期大学発足五年目、学芸学部日本語日本文学科増設から二年目を迎え、会員数も学会規模も増大している。学会主催の行事も充実しつつある。初期の手作りの味を忘れず、ますます発展出来ればと願っている。尚一層のご協力、ご尽力を仰ぎたい。(中川)

編集委員

寺川 真知夫
小林 賢章
沼田 善子
中川 成美

一九九〇年二月二十五日 印刷
一九九〇年一月三〇日 発行

同志社女子大学

日本語日本文学 第二号

編集兼 同志社女子大学

発行者 日本語日本文学会

〒六一〇〇三

京都府綴喜郡田辺町奥戸南鉢立
TEL (0774) 518767

代表者 藤 本 徳 明

印刷所 内外印刷株式会社

京都市南区吉祥院池田南町一三